



2 学期もしっかり

校長 前田 元

9月となり、子どもたちの明るい声が学校に戻ってきました。子どもたちの笑い声が響く学校は、いいものです。毎年のように、この仕事を選んでよかったと思わせてくれる瞬間です。子どもたちの笑顔とともに、けやき小学校の2学期が始まりました。それぞれの教室では、夏休みの出来事を友達と楽しそうに語らっていたり、担任の先生に繰り返し伝えていたりする姿が見られます。微笑ましい限りです。

2学期は、運動会や社会科見学など、今年度の中心となる学習が控えています。その始めが9月です。まだまだ暑い日が続きますが、9月4日（金）までのスタートアップ期間を生かして、学校生活のリズムを取り戻し、充実した2学期を過ごしてほしいと思っています。

今年の夏は、最高気温40度以上の日を示す酷暑日という言葉が使われた最初の夏になります。地球温暖化という言葉もたくさん使われています。実際にどうなのだろうかと調べてみました。1980年代の東京の9月の気温は30度を超える日が1か月で3回ありました。昨年の東京はどうかというと30度を超える気温の日は18回です。どうも確実に気温は高くなってきているようです。

そのため、学校にエアコンを設置したり、こまめに水分補給をしたりして学習や子どもたちの健康に対する影響が出ないようにする工夫がされるようになりました。私が副校長を務めていた平成20年代は、まだエアコンは音楽室など一部の部屋にしか設置されていなかったのです。各教室にエアコンが導入されたのは、つい最近のことのように感じています。こうした校内環境への対応は、子どもたちが集中して学習できるように、また、熱中症等から子どもたちを守るために行われています。2学期も楽しく学べる安全なけやき小学校となるよう努めてまいります。

さて、9月1日は関東大震災にちなんだ防災の日です。今から100年以上も前のことですが、今も関東での災害への備えとして語り継がれています。実際に今年も三陸沖、北海道、熊本などで震度5を超える地

震が発生しています。10年前の熊本地震の復興途中での今回の地震は、いかばかりだったのでしょうか。私の勝手な思いですが、けやき小学校の子どもたちが、大きな災害に遭わずに生活できることを願ってやみません。

さきほど、私の副校長時代に少し触れました。当時は、東日本大震災の直後でした。着任してから毎日のように計画停電の時間を確認し、実際に停電となった際には、登山用のヘッドライトを頭に付けて書類を整理していたことを覚えています。そして、震災の影響で、その学校に避難ということで転校してきたお子さんがいました。その子は、とても明るく素直な子でしたので、すぐにクラスにも打ち解け、楽しく学校生活を過ごしていました。ただ、避難訓練の際には、震災当日のことが思い出されて、その場から動けなくなってしまいました。その場でしゃがみ込んで、震えているその子の姿を今でも覚えています。

このような経験はない方がいいに決まっています。しかし、災害に遭遇してしまったときに、ただ立ちすくんでいるだけでは、自分の命を守ることはできません。ですから、けやき小学校では、生活指導部の先生方が、学校で起こりうる災害の状況をできるだけ多く想定し、様々な状況での避難訓練を行っています。今月は、突発的な竜巻が発生した際の避難訓練を行う予定です。

学習と併せて、真剣に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、学校評価のアンケートで「担任の先生以外に相談できる場所はありますか？」というお声をいただきました。心の状態などについてはスクールカウンセラーなど、学年のことであれば、学年主任など、学校のことであれば管理職などがお話を伺うことができますので、お問い合わせください。

また、「雨の日の歩道の歩き方が心配です」というお声をいただきました。まだ、台風への心配もあります。改めて、安全な登下校の仕方について指導してまいります。

<学校アンケートについて>

一学期の学校公開が中止となり、授業の様子をご参観いただく機会がなくなったため、回答できない項目もあったかと思います。そのような中、ご協力いただきありがとうございました。次回の学校通信10月号にて、学校アンケートの集計結果についてお伝え致します。